

電気電子工学委員会・総合工学委員会合同
IFAC分科会（第25期・第3回）

議事要旨

日 時 令和5年9月21日（木）10:00～11:40

会 場 遠隔会議（主催会場：京都大学本部棟榎木理事室）

出 席： 浅間 一，石井 秀明，岩崎 誠，榎木 哲夫，高橋 桂子，堀 洋一，
藤崎 泰正，水野 毅

欠 席： 金子 真，井村 順一，野口 伸（敬称略）

配布資料

資料0：第25期・第2回IFAC分科会議事次第

資料1：第25期・第2回IFAC分科会委員名簿

資料2：IFAC分科会（第25期・第2回）議事録

資料3：IFAC分科会活動報告

資料4-1：代表派遣候補者推薦書

資料4-2：代表派遣候補者（特任連携会員）の決定

資料5：IFAC co-sponsorship “light” for NMOs_ IFACX

資料6-1：自動制御の多分野応用小委員会（第25期第3回）議事録

資料6-2：自動制御の多分野応用小委員会（第25期第4回）議事録

資料6-3：自動制御の多分野応用小委員会（第25期第5回）議事録

資料7-1：IFAC2023 会議開催報告書

資料7-2：IFAC2023_preprints_0920

資料7-3：決算報告書 2023-09-20 暫定版

資料7-4：IFAC2023 Survey for Participants

資料8：（取り下げ）

資料9：【設置提案書】IFAC分科会

資料10-1：ROCOND2022 開催報告

資料10-2：ROCOND2022Proceedings

資料11-1：NMPC2024_JP_application

資料11-2：NMPC2024 共催申請 JAAC

資料11-3：NMPC2024 共催申請 SICE

議 事

（1）自動制御の多分野応用小委員会・自動制御連合講演会の活動状況について

資料6-1，6-2，6-3に基づいて，藤崎委員から，小委員会の活動状況について説明がなされた。また，第67回自動制御連合講演会について実行委員長（兵庫県立大学 古谷栄光教授）が決まったことなどが報告された。IFACXの申請を今期中に行うことが要請された。関連して，浅間委員から，来期のIFAC分科会について，①既に設置が承認されていること，②機械工学委員会，総合工学委員会，電気電子工学委員会の3

委員会合同の分科会となることが説明された。

(2) 前回議事録の確認 (資料 2)

資料 2 に基づいて議事録を確認した。補足として、榎木委員長から、今期の意思の表出を取りやめたことが報告された。

(3) 前回分科会委員会後の分科会活動報告 (資料 3)

資料 3 に基づいて、榎木委員長から、活動報告の内容について説明がなされた。

(4) 令和 4 年度代表派遣会議の募集への推薦・特任連携会員について

資料 4-1, 4-2 に基づいて、榎木委員長から浅野一哉氏 (特任連携会員) を推薦し、それが承認されたことが報告された。

(5) the label IFAC X by the Japan NMO について (報告) (資料 5)

資料 5 に基づいて、IFACX について説明がなされた。関連して、第 66 回自動制御連合講演会についても IFAC-Japan が共催となっていることが報告された。

(6) IFAC2023 の開催報告

資料 7-1, 7-2, 7-3, 7-4 に基づいて、石井委員から IFAC2023 の開催結果について報告がなされた。

(7) IFAC Japan NMO 承認による国内での IFAC TC によるシンポジウム等の開催に際しての自動制御協議会との共催について

榎木委員長から、IFAC Japan NMO が承認した IFAC TC によるシンポジウム等の開催に際して、自動制御協議会との共催とすることによって、財政的なリスクを回避する方策が検討されていることが説明された。併せて、石井委員から、自動制御協議会のこれまでの活動状況や現況について説明がなされた。また、浅間委員から、IFAC に設置されたコンファレンスボードやローンについて説明がなされた。また、ローンへの申請は NMO が行うことが確認された。

(8) 今後の分科会活動計画 (第 26 期設置提案書) (資料 9)

資料 9 に基づいて、榎木委員長から活動計画について説明がなされた。機械工学委員会、総合工学委員会、電気電子工学委員会の 3 委員会合同の分科会となることが再度確認された。申請書にある「IFAC の会員は国」は、「IFAC の会員は国を代表する一学術団体」とすべきであることが確認された。

(9) ROCOND2021 の開催延期と開催報告 (資料 10)

資料 10-1, 10-2 に基づいて、榎木委員長から開催が 2022 年に延期されたこと及び開催結果について説明がなされた。

(10) The 8th IFAC Symposium on Nonlinear Model Predictive Control (NMPC 2024) について (資料 11)

資料 11-1, 11-2, 11-3 に基づいて、榎木委員長から NMPC2024 (実行委員長 :

京都大学（大塚敏之教授）について自動制御協議会が共催することなどについて説明がなされた。

（11）その他

- ・議事要旨は最終的には委員長一任とすることが承認された。

以上